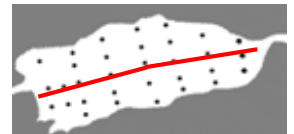


2026 年 10 月 宍道湖 塩分・溶存酸素

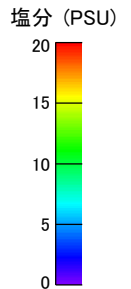
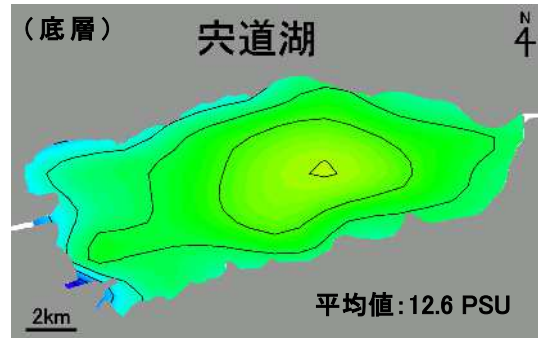
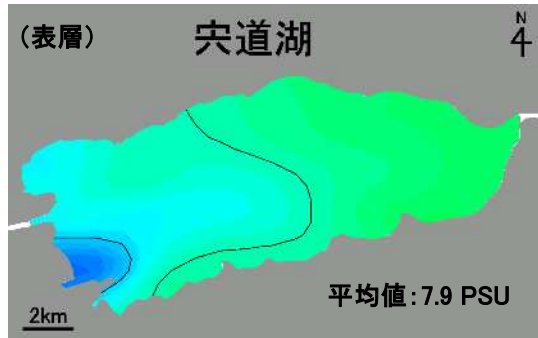
水域	調査日	天候	風向風速	水温 (表層平均)
宍道湖	2026 年 10 月 1 日	晴	西北西 0.7 m/秒→西 0.7 m/秒	23.9 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



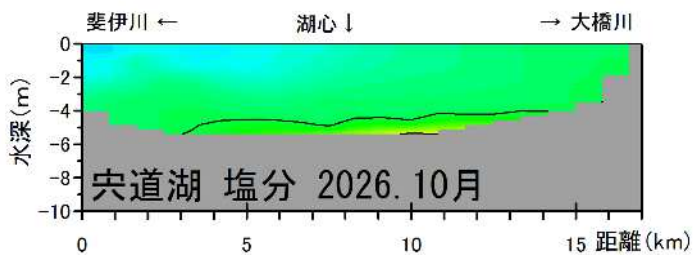
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



※塩分のスケールは 2020 年 6 月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布

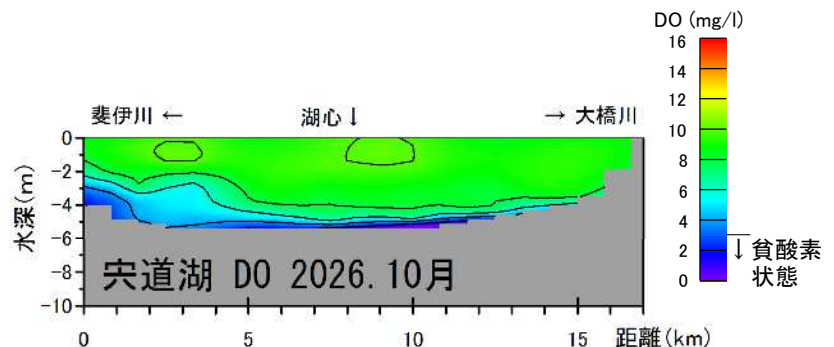
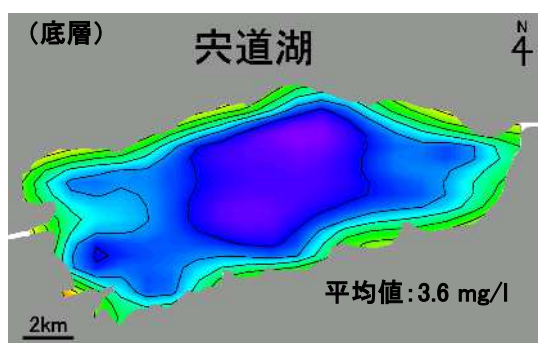


表面水温は大幅に低下したが、過去 10 年平均を上回っている。

塩分平均は表層、底層ともに先月から低下したものの、高い状況が継続している。。表層は西岸に 4~5PSU の水域があり東岸に向けて徐々に上昇し、東岸は 8~9PSU となっていた。底層は湖心の東側に 10PSU を越える水域があり、沿岸に向けて同心円的に低下する傾向であった。

(『R8 年度水質状況』を参照)。

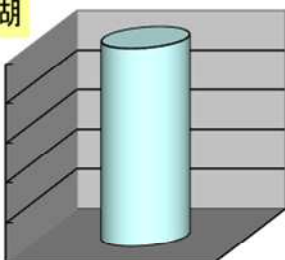
● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



宍道湖

100%
80%
60%
40%
20%
0%

● 貧酸素化した水の体積割合



溶存酸素 3.0mg/lを下回る貧酸素水塊の体積割合は 0.3%、先月よりは増加したが低水準が継続している。ただし、底層は広い範囲で貧酸素水塊に覆われていた。

(『R8 年度水質状況』を参照)。

● R8年度水質状況

